

http://www

# 新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

## 新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

発行日 Newsletter Date

2011年11月30日

### Front Page

『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第3号

### 目次 Inside This Issue

- 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第3号
- 2 市町村に対する新型インフルエンザ対策に関する説明会を開催
- 3 [続報] 猪由来インフルエンザA(H3N2)感染症例の発生(米国)
- 4 鳥インフルエンザなどの発生情報
- 5 編集後記

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

### Information

#### 市町村に対する新型インフルエンザ対策に関する説明会を開催

県では、11月16日から25日まで、市町村の危機管理部門及び公衆衛生部門の担当者約60人の参加を得て、二次医療圏ごとに「新型インフルエンザ対策に関する説明会」を開催しました。

この説明会では、県の新型インフルエンザ対策のほか、青森県新型インフルエンザ対策行動計画、新型インフルエンザ対策における市町村の主な役割などについて説明を行い、対策に関する一層の理解をさせていただくとともに、平成21年のインフルエンザ(H1N1)2009発生時での各市町村の対応内容や対応時の課題等に関して意見交換を行いました。

また、今後発生が懸念される新型インフルエンザへの対策として、事前の準備が重要であることや県・市町村相互の情報提供等や連携を図っていくことなどをあらためて確認しました。

(説明会実施状況)

地区名	開催日	参加市町村
東青	11月25日	青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町
中南	11月21日	弘前市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町
三八	11月17日	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町
西北	11月16日	五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町
上北	11月16日	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町
下北	11月24日	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、六ヶ所村

いずれも各地区の県保健所を会場として実施しています。

**続報****ブタ由来インフルエンザ A (H3N2) 感染症例の発生 (米国)**

米国でのブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例報告数(2011年9月以降)

発生州	数
インディアナ州	2
ペンシルバニア州	3
メイン州	2
アイオワ州	3
合計	10

【2011年11月24日発行の第3号早刷り版の続報です。】

米国疾病管理センター (米国 CDC) は、11月23日、アイオワ州においてヒト-ヒト感染による3例のブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例を確認したと発表しました。

- 今回確認された患者等に関する情報は、次のとおりです。
  - 患者 A: 2011年11月第2週に、インフルエンザ様の急性症状を呈し、発症3日後に医療機関に受診し、検体検査の結果、感染が確認されました。患者 A の兄弟及びその父親もインフルエンザ様症状を呈していますが、検体検査は行われていません。それ以外の世帯員での呼吸器感染症の報告はなく、また、ブタへの暴露もありません。
  - 患者 B、C: 兄弟で、患者 B は患者 A の発症3日後に、患者 C は患者 B の発症1日後に、それぞれインフルエンザ様症状を呈し、検体検査の結果、感染が確認されました。また、それ以外の世帯員での呼吸器感染症の報告はなく、また、ブタへの暴露もありません。
    - ▶ 患者 A は発症1日後に、子どもを主とした小集会に参加しており、患者 B、C もその小集会に参加しています。
- 関係当局の対応等は、次のとおりです。
  - アイオワ州公衆衛生局 (IDPH) による調査では、この集会に参加した成人や子供での発症者の報告はなく、3人の患者が住む地域や地域の学校における欠勤の増加や呼吸器感染症の報告はないとしています。
  - また、IDPH は、医師に対して、インフルエンザ様症状のある患者からの検体採取を要請しています。
  - 3人の患者が住む地域の医療機関は、インフルエンザ様症状に関するサーベイランスを強化しています。
- 米国 CDC が公表している情報等は、次のとおりです。
  - 3人の患者から同定されたウイルスは、オセルタミビル (タミフル) 及びザナミビル (リレンザ) に対して感受性があること。
  - 季節性インフルエンザワクチンによる交差免疫性は、成人では限定的、子どもでは無いこと。
  - 医師は、ブタ由来インフルエンザを疑う患者に対してはオセルタミビルによる治療を行い、その患者から検体を採取の上、州・地域保健局に連絡すること。

【米国 CDC 新たなインフルエンザ A(H3N2)の限定的なヒト-ヒト感染、アイオワ州】

[http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm60d1123a1.htm?s\\_cid=mm60d1123a1\\_w](http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm60d1123a1.htm?s_cid=mm60d1123a1_w)

**ブタ由来インフルエンザ H3N2 感染症例に対する関係機関の対応**

- WHO は、米国政府と米国 CDC などと共にその状況を注視していくとしています。

【WHO 米国におけるインフルエンザ様感染症】

[http://www.who.int/csr/don/2011\\_11\\_24/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2011_11_24/en/index.html)

## News

## 鳥インフルエンザなどの発生情報

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2011 年 11 月 29 日)

確定症例	571 人
うち死亡例	335 人
致死率	58.7%

## 鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

## 1. インドネシア保健省は、11 月 15 日、鳥インフルエンザ A (H5N1) の新たな 1 例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ この症例は、バリ州バンリ地区の 28 歳の女性で、10 月 10 日に発症、同月 17 日に死亡しています。(この症例の 5 歳の娘と 10 歳の息子は、10 月 9 日、10 月 10 日に死亡しています。(本紙第 2 号で報告))

- ・ この症例の発症前には、近所の鶏が死亡しています。

- ▶ インドネシアでは、182 例の確定患者が発生し、うち 150 例が死亡。

【WHO 鳥インフルエンザ—インドネシアの状況】

[http://www.who.int/csr/don/2011\\_11\\_15/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2011_11_15/en/index.html)

## 2. エジプト保健省は、11 月 29 日、鳥インフルエンザ A (H5N1) の新たな感染症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ この症例は、ダカリーヤ県の 31 歳の女性で、11 月 10 日に発症、同月 16 日から入院しています。

- ・ この症例の発症前には、近所の病鶏及び死亡鶏に暴露しています。

- ▶ エジプトでは、153 例の確定患者が発生し、うち 52 例が死亡。(2011 年では、34 例の確定患者が発生し、うち 12 例が死亡)

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況】

[http://www.who.int/csr/don/2011\\_11\\_29/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2011_11_29/en/index.html)

## ○鳥インフルエンザ A (H5N1) が再出現した 2003 年以降、2011 年 11 月 29 日までに、WHO に報告された鳥インフルエンザ A (H5N1) 確定症例の累計数は 571 人となっています。そのうち 335 人が死亡しています。(致死率は、58.7%)

- ▶ 鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例は、これまでのところ、限定的なヒト—ヒト感染のみが確認され、地域感染は確認されていません。

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ (A/H5N1) 感染確定症例数】

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/EN\\_GIP\\_20111129CumulativeNumberH5N1cases.pdf](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20111129CumulativeNumberH5N1cases.pdf)

## インフルエンザの発生情報・研究報告など

## ○ブタにおけるブタ由来インフルエンザ H3N2 を初めて確認

米国農業省は、11 月 20 日、ブタにおけるブタ由来インフルエンザ H3N2 ウイルスを初めて確認しています。このウイルスは、今年 9 月にニューヨークで採取した検体からのものです。

【米国国立生物工学情報センター インフルエンザ A ウイルス遺伝子分節】

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nuccore/JN940422>

## ○インフルエンザ (H1N1) 2009、オンタリオ州での住民の 20-30% が感染

カナダ・オンタリオ州では、インフルエンザ (H1N1) 2009 の発生から流行が終わるまでに、その住民の 20-30% が感染していたという研究報告がありました。

【PlosPne2009 年 1 月～2010 年 5 月のオンタリオでのインフルエンザ H1N1 の血清陽性率】

<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0026427>

## 編集後記



厚生労働省ポスター

## 「インフルエンザの予防について」(青森県庁ホームページ)

例年 12 月～ 4 月にかけてインフルエンザ流行のシーズンを迎えます。インフルエンザは、ただの“かぜ”とは違い、症状が重く、特に幼児や高齢者など抵抗力の弱い方々がかかると重症化しやすく、死に至る場合もあります。

手洗い、うがい、外出時のマスクの着用等、インフルエンザの予防を行うとともに、かかったかなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。

【青森県庁「インフルエンザの予防について」】

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/2011-2012seasonal\\_flu.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/2011-2012seasonal_flu.html)

インフルエンザ予防の、おやくそく「お口をカバー。手を洗いグマ。」

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9284

Fax:

017-734-8047

E-mail:

[hoken@pref.aomori.lg.jp](mailto:hoken@pref.aomori.lg.jp)

URL:

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic\\_flu\\_action.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html)